

北陸の気象・重粘土壤条件下での高商品性省力果樹栽培技術の開発

1 中核機関・研究総括者

富山県農業技術センター 関口 英樹

2 研究期間

2005～2009 年度（5 年間）

3 研究目的

水田農業を基盤とする北陸地域において、果樹を導入した複合経営体の育成と特色ある果樹産地の育成を図るため、北陸地域に適した商品性の高い果実生産と省力的で取り組みやすい果樹栽培技術を開発する。

4 研究内容及び実施体制

- ① 重粘土壤等の水田転換畑に適した高商品性果実生産技術の開発（富山農技セ、新潟農総研、石川農総研、福井農試、（独）果樹研究所、（独）果樹研究所リソウ研究部、新潟大学、北越農事株）
リンゴの新わい性台木、西洋ナシの優良台木を利用した水田転換畑での果樹開園技術を開発する。また、日本ナシの根域制限栽培、水稻育苗ハウスでのカキボックス栽培による高商品性果実生産技術の開発を行う。
- ② 多日照・多雪等気象条件に即した省力的管理技術の開発（富山農技セ、新潟農総研、石川農総研、福井農試、（独）果樹研究所リンゴ研究部、宇都宮大学）
リンゴの新わい性台木を利用した低樹高樹形整枝技術と専用支柱、日本ナシの垣根仕立て一文字整枝等による省力樹形整枝技術と専用棚、ブドウの水稻育苗ハウスを活用した樹形管理技術、細霧システム・多機能資材等を利用し労力分散化に向けた開花抑制技術の開発を行う。
- ③ 現地実証試験による管理マニュアル・経営モデルの作成（富山農技セ、新潟農総研、石川農総研、福井農試）
①、②で開発された技術を現地実証によって問題点の摘出、改善を行い、栽培管理マニュアルの作成を行うとともに、「水稻+果樹」作業体系の経営試算等による経営モデルの作成を行う。

5 目標とする成果

北陸の水田農業に適した収益性の高い果樹栽培技術の確立と果樹開園メニュー（ガイドブック）が作成される。これを北陸各県で相互活用することにより、「水稻+果樹」複合経営体の育成と農家・生産組織の所得向上が期待できるとともに、地産地消を活かした多種多彩な果樹産地育成と北陸地域の水田農業活性化が期待できる。

北陸の気象・重粘土壌条件下での高商品性省力果樹栽培技術の開発

